

## 4. 凡 例 解 説

(第3回調査の対象地域について)

第2回の植生調査報告以外の富山県の範囲で、主に富山県西部である。すなわち、1/5万地形図の三日市、魚津、蛇ヶ島、富山、八尾、白木峰、飛騨古川、氷見、石動、城端、下梨、白川村である。県境に接する部分では、富山県内の部分を対象としている。

なお、解説は修正表示番号順としている。

### 亜寒帯・亜高山帯自然植生

#### 1. ミドリユキザサーダケカンバ群団

この群団は、石川県、岐阜県、富山県の3県境に位置する笈ヶ岳(標高1841m)より北へ続く大笠山、奈良岳の稜線の急斜面に生育しており、見越山、猿ヶ山、人形山、金剛堂山の吹き溜りの深雪地にもこの小群団が生育している。

樹形は一般に雪圧のため曲幹で、樹高も低いものが多い。稜線部の生育地は、冬期季節風の第1線であるため、単木の群落である。

低木にはチシマザサが多く、ノリウツギ、ミネカエデなど、林床にはシラネウラボ、マイヅルソウ、ゴゼンタチバナ、コミヤマカタバミなどの他、ブナクラスの低木草本が多く生育している。

また、笈ヶ岳、大笠山付近の、雪崩のない安定した稜線の風衝地にオオシラビソ群集が、単木または小群落で生育している。高木が生育することは少ない。

#### ○カリヤスータテヤマスゲ群落

人形山の東側、標高1600m付近の稜線下、南東向きの30°~35°の急斜面に、この群落が生育している。ここは風背下の吹き溜りの深雪地で、融雪が遅く、春期の雪崩地域であるため、低木が生育しないで草地になっている。

カリヤス、タテヤマスゲが優占し、イブキゼリ、ニッコウキスゲ、ヒトツバヨモギ、オオバギボウシ、カラマツソウなどが生育し、チシマザサも草本の樹高である。その低層にミツバオウレン、マイヅルソウ、ゴゼンタチバナが生育している。

大門山、白木峰などの標高1500~1600mあたりの雪崩地域にも分布している。

#### 2. キャラボク群落

この群落は白木峰、金剛堂山、人形山の標高約1600mの頂上付近の稜線に、小面積で生育している。風衝地ほど樹高約4mと低い亜高木林となる。

低木にチシマザサが多く、アカミノイヌツゲ、オオカメノキ、ノリウツギなどが生育し、

草本層は植被率が低く、マイヅルソウ、ショウジョウバカマ、ツクバネソウ、シラネワラビ、ミヤマカンスゲなどが生育している。

## ブナクラス域自然植生

### 3. ヒメアオキーブナ群集

夏緑広葉樹林のチシマザサーブナ群団は、標高約350～1600mの山稜、山腹斜面に広く生育するが、伐採により二次林か植林地に変わった所もあり、自然植生が減少している。

この群団の生育地のうち、深山の山稜山腹にマルバマンサクーブナ群集が生育し、それより低い標高約350～800mの安定した山腹斜面の適湿地に、ヒメアオキーブナ群集が生育する。

この群集は、小矢部市小白谷（標高100m）、俱利伽羅峠（270m）、高岡市二上山（210m）の低山地から、医王山、ブナオ峠、大門山、高坪山、戸田峰、唐堀山などの山地帯に広く分布している。特に、上平村西赤尾（350m）、皆葎、平村上梨、相倉、利賀村山の神峠などの山間集村地では、雪崩防止保安林として、また、八乙女山、赤祖父山、高落葉山などでは水源涵養林として保護されている。

この群集は、ブナが優占し、ヒメアオキ、コマユミ、ハイイヌガヤの群集標徴種の他イタヤカエデ、ミズナラ、ヤマハンノキ、ウワミズザクラ、アズキナシ、オオカメノキなど多くの随伴種が生育している。北陸多雪地の植物が多く、ユキツバキが高頻度に出現することが特徴である。また、二上山ではアカガシと小矢部市小白谷ではウラジロガシと共に生育している。

### 4. マルバマンサクーブナ群集

この群集はブナクラス域の中部から上限に至るまでの、山腹から稜線に広く分布している。また、それより標高の低い所でも比較的斜面勾配も強く土壌の浅い山腹や、風衝の頂上、稜線にも生育する。

風衝地でない八尾町戸田峰、上平村のブナオ峠から赤摩木古山、大笠山、笈ヶ岳などの東斜面、利賀川の源流域や水無山一帯などの群集は、樹高が20m以上の高木林で、植被率80～90%の純林の所もある。

この群集の高木・亜高木はブナが主で、イタヤカエデ、ヤマハンノキ、ミズナラ、アズキナシ、ヤマモミジなどがわずかに混っている。低木にはチシマザサ、オオカメノキ、コハウチワカエデ、ハウチワカエデ、ヒトツバカエデ、エゾユズリハ、コシアブラ、リョウブ、ヤマウルシ、オオバクロモジ、マルバマンサク、ナナカマド、ムラサキヤシオツツジ等多くの樹木が生育し、草本には、タケシマラン、ツバメオモト、ツクバネソウ、シラネワラビ、イワハリガネワラビ、シノブカグマ、オクモミジハグマ、ショウジョウバカマ、ヤマソテツ、ミヤマイタチシダ等が生育している。

また、山頂稜線などの風衝地の医王山、袴腰山、猿ヶ山、大門山、人形山、金剛堂山、白木峰などには、風衝低木林が生育し、樹高は4～7mで、植被率30～50%と低い。

このブナ風衝低木群落はブナが優占し、アカミノイヌツゲ、ウスユキハナヒリノキ、ウラジロハナヒリノキ、ホツツジ、コバノイヌツゲ、ミネカエデ、チシマザサ、マルバマンサク、オオカメノキ、ナナカマド、タムシバ、コミネカエデ、ムラサキヤシオツツジ、ハクサンシャクナゲ、リョウブ、ウラジロヨウラクなどが生育し、草本にはマイヅルソウ、ゴゼンタチバナ、ショウジョウバカマ、ツクバネソウ、イワカガミ、トクワカソウなどが生育している。

## 5. スギブナ群落（スギ天然林）

天然性のスギは、耐積雪性の強い北陸特有のアシオスギで、この群落は県東部に多く、中部、南西部では少なく、低山には生育しない。今回の調査地域では集塊岩、凝灰岩質の八尾町夫婦山、祖父岳、日尾御前の他、戸田峰、城端町縄ヶ池などに分布し、奥医王山、白木峰などには単木的に生育している。この群落は主に標高750～1300mの山頂、山稜のミズナラ群落からブナ群落の生育域に、伐採を免れて残存している。風衝地が少ないため、樹高が高く、笠状の樹冠の高木は少ない。植被率は50～70%と少ないところもあるが、日尾御前や祖父岳の一部には植被率90%に達するところもある。

高木には、高度差によりブナ、ミズナラなどが混交し、低木にはホンシャクナゲ、アカミノイヌツゲ、タムシバ、ホツツジ、ハウチワカエデ、リョウブ、ノリウツギ、オオカメノキ、コシアブラ、オオバクロモジ、ヒトツバカエデ、マルバマンサクが生育し、ユキツバキ、ヒメアオキの多い所もある。草本には、ヤマソテツ、トクワカソウ、シノブカグマ、ツルアリドウシ、ホソバノトウゲシバ、アクシバなどが生育している。

## 6. アカミノイヌツゲクロベ群集

この群集は県東部に広く分布しているが、当地域には稀れで、人形山の標高約1600m付近に生育し、単木的には大獅子山とその付近、石川県境から境川上流に分布している。人形山のこの群落はブナ、ミズナラの高木の伐採後の亜高木で、樹高8m、植被率80%である。

クロベ林にブナ、ミズナラが混り、低木にはクロベ、アカミノイヌツゲ、ホツツジ、ヤマウルシ、オオカメノキ、ツリガネツツジ、タムシバ、ミネカエデ、コシアブラ、マルバマンサク、ウスユキハナヒリノキ、オオバスノキなど、草本にはヤマソテツ、マイヅルソウ、イワカガミ、ゴゼンタチバナ、ミヤマカンスゲ、ショウジョウバカマ、ツクバネソウ、シノブカグマ、シラネワラビなどが生育している。

### ○ホンシャクナゲヒノキ群集

この群落は県内では県南西部にのみ生育し、上平村葎島、小谷、庄川支流境川源流、袴

腰山東斜面、大獅子山などに小群落がある。

大獅子山の群落は、樹高15~20mで植被率は70~90%である。高木はヒノキにヒメコマツ、ネズコが混り、低木にホンシャクナゲ、アカミノイヌツゲ、タムシバ、リョウブ、ネジキ、タカノツメ、コミネカエデ、オオバスノキなど、草本にトクワカソウ、アクシバ、ウスユキハナヒリノキ、イヌツゲ、ツルアリドウシなどが生育している。

#### ○クロベ-ヒメコマツ群落

この群落の多くは伐採されているため、標高400~1600mあたりの稜線や、岩石急斜面に部分的に残存している。上平村皆葎谷、小谷、庄川支流境川源流、人形山、大門山などに小群落で分布している。

### 7. ジュウモンジシダーサワグルミ群集

この湿性溪谷林は、谷の崩壊堆積地や崖錐台地、小扇状地の湿性地に生育するが、標高300~800mの地域はスギ植林地などになっている。ブナ峠から小矢部川の源流域、大門山からの崩壊堆積地に広い生育地がある。この群落は純林に近く、樹高22m、植被率80~90%である。高木、垂高木にサワグルミの他、トチ、イタヤカエデ、ヤマハンノキ、ホオノキ、ウワミズザクラ、低木にミヤマイボタ、サワフタギ、エゾアジサイ、ミズキなど、草本にリョウメンシダ、ミヤマイラクサ、ジュウモンジシダ、オオアキギリ、アカソ、テンニンソウ、ミヤマベニシダ、サカゲイノデ、ミゾシダ、カメバヒキオコシ、ウワバミソウ、コミヤマカタバミなどが生育している。

また、平村猫池縁の水積台地のサワグルミ群落は、高木にサワグルミ、低木にサワフタギ、ミヤマカワラハンノキ、ノリウツギ、ミヤマイボタ、ケナシヤブデマリ、エゾアジサイ、ハイイヌツゲなど、草本にエゾシロネ、カメバヒキオコシ、サトメシダ、リョウメンシダ、ミヤマベニシダ、ヤマドリゼンマイなどが生育している。

#### ○ミヤマイボターヤブデマリ群落

平村猫池のサワグルミ群落に続いた湿地に、サワフタギの優占する低木群落が生育する。この群落は、ミヤマイボターヤブデマリ群落より湿地に生育し、低木にミズキ、ミヤマイボタ、ケナシヤブデマリ、草本にミヤマベニシダ、リョウメンシダなどが生育している。

ミヤマイボターヤブデマリ群落は、平村細尾峠付近、城端町縄ヶ池などに小面積で分布しており、低木にはミヤマイボタ、ヤブデマリ、ミヤマカワラハンノキ、サワフタギ、草本にはリョウメンシダ、テンニンソウ、タニセリモドキ、オオアキギリ、ミヤマベニシダなどが生育する。

この群落の生育地よりもっと乾性化すると、クロツバラ群落が生育し、城端町縄ヶ池に見られる。

#### ○トチノキ群落

この群落は標高約400~800mに分布し、ヒメアオキ-ブナ群集、ミズナラ群落の下部の

安定した斜面に生育する。利賀村山の神の群落は雪崩防止林、井口村赤祖父山の群落は、水源涵林として保存されており、相倉その他にも小群落が分布する。樹高約25m、植被率80~90%、直径1mに達する群落もある。

高木にはブナが多く、ミズナラ、サワグルミがわずかに混る。低木はハイイヌガヤ、ウリノキ、ツリバナ、ミヤマハハソ、ハナイカダ、ヒメアオキ、オヒョウ、エゾアジサイなどが生育し、草本はリョウメンシダ、ジュウモンジシダ、ミゾシダ、サカゲイノデ、チゴユリ、ホウチャクソウなど適湿地、湿性地の植物が生育する。

#### 8. ドロノキーオオバヤナギ群落

八尾町久婦須川の標高約500mの河川敷と、その河岸にオオバヤナギの疎林の群落がある。樹高約15m以下、植被率70%で、低木にオノエヤナギ、タニウツギ、ミヤマカワラハンノキ、ヒメヤシャブシなど、草本にシシウド、イタドリ、オオヨモギ、アカソ、テンニンソウなどが生育する若い群落である。

ドロノキは庄川河敷に生育していたが、今はダム建設で消滅している。

#### 9. ヤマハンノキ群落

ブナオ峠より小矢部川源流、標高800~900mの崩壊台地に生育するサワグルミ群落より乾性な所に、部分的にヤマハンノキ群落が生育している。樹高約20m、植被率80%、高木にヤマハンノキ、シナノキ、イタヤカエデ、ミズナラ、サワグルミなど、低木にヤマモミジ、タニウツギ、オオバクロモジ、エゾアジサイ、ノリウツギ、イタヤカエデ、ハイイヌガヤ、ウリハダカエデなど、草本にアカソ、シシウド、ヤマブキショウマ、リョウメンシダ、ジュウモンジシダ、テンニンソウ、トリアシショウマなどが生育している。

城端町小瀬峠付近や周辺の谷間に分布するブナ群落、ミズナラ群落などに単木的に混生し、広く生育している。

#### 10. ヒメヤシャブシータニウツギ群落

山地崩壊急斜面、堆積台地、谷沿い、河床などの乾性な荒地にこの群落が生育する。

大門山東側急斜面の雪崩地域のこの群落は、ヒメヤシャブシ、タニウツギ、ミズナラの低木群落でカリヤスが多く生育している。このような群落は医王山、人形山、庄川小矢部川の谷の部落からやや離れた萱場放棄跡地にも、小面積で分布している。

医王山の乾性な荒地に分布するこの群落は、ヒメヤシャブシ、タニウツギが多く、バッコヤナギ、ハッコヤナギ、ナナカマドが混り、草本にオトコエシ、アカソ、オオヨモギ、ヨツバヒヨドリ、ゴマナ、フキ、カリヤス、ススキなどが生育する。この地域が堆積台地であることから、ミズナラ群落に遷移するものと考えられる。このような群落は平村、上平村、利賀村、城端町、庄川町などの谷沿いに小面積で分布している。

低山の林道建設による南向き法面の急斜面はより乾性で、キツネヤナギ、タニウツギが優占し、バッコヤナギ、ヤクシソウ、アキノキリンソウなどが疎に生育するキツネヤナギータニウツギ群落 distributes。この群落は、八尾町、呉羽山、庄川町、福光町、小矢部市など各地に見られる。

#### ○ウワバミソウーミヤマカワラハンノキ群落

山地崩壊急斜面下部やその堆積台地、谷沿いの湿性地に、この群落が生育する。平村、城端町、利賀村、庄川町、八尾町など各地に小規模な群落 distributes。

医王山のこの群落は、ミヤマカワラハンノキが優占し、タニウツギ、ヒメヤシャブシ、草本にオオヨモギ、アカソ、フキ、オオアキギリ、ヒキオコシ、テンニンソウ、ヤマブキショウマ、トリアシショウマ、シシウドなどが生育している。

### 11. フジアザミーヤマホタルブクロ群集

この群集は庄川流域、百瀬川上流、利賀川上流水無、白木峰などに分布し、急斜面の崩壊崖面やその下部堆積地に生育する。百瀬川の上流の崩壊性崖面は、斜面勾配は $40^{\circ}$ の急斜面で、植被率30%、フジアザミ、ヤクシソウ、アカソ、フキ、コウゾリナ、ススキ、クサボタンなどの小群落が稀に生育している。

### 12. オオヨモギーオオイタドリ群団

この群団は、オニジモツケーオオヨモギクラス(山地高茎広葉草原)に属し、山地の谷間の積雪が多く融雪のやや遅い所や、崩壊堆積斜面などに生育する。

#### ○ミヤマシシウドーオオイタドリ群落

この群落の生育地は、山地崩壊斜面下部の堆積地や、谷間の緩い堆積台地で、湿性で肥沃な土地であり、融雪が遅いため樹木は殆ど生育しない。

この群落にはミヤマシシウド(またはシシウド)、オオイタドリ、オオヨモギ、ナンブアザミ、ヒキオコシ、ウド、テンニンソウ、サカゲイノデ、キツリフネなどが生育しているが、今回の調査地域にはオオイタドリは生育しないで、イタドリが生育している。この群落は、雪の吹き溜りなどの積雪量の多い所に、狭い範囲で分布している。

平村のこの群落には、ミヤマシシウドが優占し、タニセリモドキ、クサンテツ、ナンブアザミ、オオヨモギ、ヒキオコシ、イタドリ、テンニンソウ、ウド、ミヤマカラマツなどが生育している。

#### ○アカソーヤマヨモギ群落

ミヤマシシウドーオオイタドリ群落に似た立地であるが、崩壊斜面やその堆積台地に礫が多く、やや乾燥し栄養分も少ない斜面に、小面積で分布している。

平村のこの群落には、アカソ、オオヨモギ、テンニンソウ、カラムシ、ミズヒキ、フキ、ヤマイヌワラビ、ヤマニガナ、オカトラノオなどが生育している。この群落には、この他

にミヤマトウバナ、イタドリ、シシウド、ヒキオコシ、ジュウモンジシダなどが生育する。融雪のやや早い所には低木が侵入しやすく、ミヤマハンノキ、タニウツギ、ヤナギ類、ヒメヤシブシなどが生育し、これらの低木群落に変る可能性がある。

#### ○オニシモツケ群落

この群落は標高2000 m以上の高山地帯にも生育するが、今回の調査地域には高山がないので、この群落は殆ど分布しない。

利賀村水無平のやや湿性地のこの群落には、オニシモツケが優占し、ミヤマセンキュウ、ハンゴンソウ、マルバダケブキ、タチカメバソウ、ヤマトリカブト、サンリンソウ、サラシナショウマ、カニコウモリ、サンカヨウ、ミヤマスマレ、サワオトギリなどが生育している。

#### ○ハンゴンソウ群落

オニシモツケ群落と同じ所に、ハンゴンソウの優占する群落がある。この群落はオニシモツケ群落に含まれると思うが、やや湿気の少ない、乾く所に生育する。ハンゴンソウ、オニシモツケ、オタカラコウ、ミヤマシシウド、ヤマヨモギ、ミヤマシラスゲ、オオバミゾホウズキ、サンリンソウ、サドスゲ、シモツケソウ、ミヤマタムラソウなどが生育している。

### 13. イヌシデーアカシデ群落（イヌシデーアカシデ自然林）

アカシデ群落は標高約400 mまでの、谷間の岩石崖や丘陵台地斜面に生育する。神通峡谷、宮川峡谷では、ウラジログシ群落やケヤキ群落の構成種であったり、隣接して群落が生育する。細入村片掛の神社のアカシデ林は、高木にアカシデ、ケヤキ、アズキナシ、コナラ、アサダ、アカマツなど、亜高木・低木にアカシデ、ヤマモミジ、チャボガヤ、ヒメアオキ、ユキバタツバキなどが生育している。小杉町日の宮神社の境内林はウラジログシの多い群落と、アカシデの多い群落が隣接している。このアカシデ群落の高木にはアカシデが優占し、ウラジログシ、アズキナシ、低木にヒサカキ、ヒメアオキ、ヤブツバキ、草本にベニシダ、ヤブコウジ、キッコウハグマ、ジャノヒゲなどが生育している。小矢部市俱利伽羅峠ではブナ林に隣接して、アカシデの亜高木林があり、アカシデ、コナラ、アズキナシなどが生育している。その他各地に小群落が分布している。

イヌシデ群落は、氷見市沿岸のスタジイ群落内や、呉羽山、氷見市森寺城址に生育している。氷見市森寺城址のイヌシデ群落は、低い稜線に樹高約15 m、植被率95%の純林で、その他高木にコナラ、アカシデ、アズキナシなど、低木にヒサカキ、ミヤマガマズミ、ヒメアオキ、ムラサキシキブ、コバノガマズミ、コマユミ、ヤブツバキなど、草本にヤブコウジ、チゴユリ、リュウノヒゲ、ベニシダなどが生育している。

## 14. ケヤキ群落

### ○チャボガヤケヤキ群落

この群落は標高 200～800 mあたりの、谷間入口近くの溪谷の急斜面に、保安林の状態で、山地では崩壊や雪崩防止のために、部分的に生育しているが巨木群落はない。標高 500 m以上の山地の群落は、八尾町大長谷川上流、山田川上流、利賀川上流、庄川流域その他に分布している。

利賀村の群落では、高木にケヤキが優占し、イタヤカエデ、ハリギリが混り、亜高木・低木にサワシバ、ヤマモミジ、ハイイヌガヤ、ツリバナ、ミヤマハハソ、サンショウ、ハクウンボク、コマユミ、ヒメアオキ、ミヤマイボタなど、草本にサカゲイノデ、クジャクシダ、ヒメノガリヤス、ジュウモンジシダ、トリアシショウマ、コンノホンモンジスゲなどが生育する。

八尾町内名谷のこの群落には、高木にケヤキ、低木にヤマモミジ、コマユミ、ハイイヌガヤ、ウツギ、ヤマブキ、チャボガヤその他、草本にジュウモンジシダ、テンニンソウ、ハルユキノシタ、クジャクシダなどが生育している。

井波町八乙女山麓の林道建設の安山岩の崖面に、ヤマブキ群落があり、ヤマブキ、ヤマヨモギ、アカソ、イワテトウキ、ノコンギク、アキカラマツ、ヒメノガリヤス、ツルキジムシロなどが生育し、ケヤキ群落の前群落の生育状況である。

### ○ケンボナシケヤキ群落

この群落は、神通峡、宮川峡、八尾町各河川の急斜面、山田川、庄川峡、庄川町、井波町、福光町、小矢部市など、標高約 200～300 mあたりの岩石斜面や山間部落周辺の急斜面に部分的に分布している。

八尾町下ノ名の群落は、高木にケヤキが優占し、ケンボナシ、エノキなどが混り、亜高木・低木に、ヤマブキ、コマユミ、ヤマモミジ、ヒメアオキ、ハイイヌガヤ、チャボガヤやその他谷間の低木が生育し、草本にオオバジャノヒゲ、エビネ、サイハイランなどで肥沃で適湿地の植物が生育している。

宮川峡の西加賀沢の岐阜県境近くでは、高木にケヤキ、アカシデ、アサダ、フジキ、ケンボナシ、亜高木・低木にクマシデ、サワシバ、ウラジロガシ、ブナ、チャボガヤ、ユキバタツバキ、ヤマブキなど、草本にミヤマカンスゲ、サカゲイノデ、クジャクシダ、ジュウモンジシダ、ヒトリシズカ、ハルユキノシタなど生育し、暖温帯、峡谷の植物も生育している。

### ○アサダ群落

細入村神通峡庵谷付近、片掛、宮川峡蟹寺白山社、西加賀沢県境付近にアサダ群落が小面積に残存している。高木にアサダ、ケヤキ、ケンボナシ、アカシデ、シナノキなど、亜高木・低木にアカシデ、クマシデ、サワシバ、オオモミジ、チャボガヤ、ミヤマガマズミ、ヤマブキ、ハイイヌガヤ、メグスリノキ、ウリノキ、サンショウ、ムラサキシキブなど、



草本にオクマワラビ、ジャノヒゲ、クジャクシダ、ヒトリシズカ、コタニワタリ、ヒロバ  
スゲ、サイハイラン、ヤマイトチシダなどが生育している。岩崖地域は樹木の発育が悪く、  
植物の種類数も少ないが、白山社では70種類も生育している。

#### ○オニグルミ群落

標高 200～500 mあたりの、峡谷河川が蛇行する時、凸部にケヤキ群落、凹部の斜面  
にオニグルミ群落が生育することが多い。また、浅い谷間や緩い斜面にも小面積で生育す  
る。生育地は細入村の宮川峡、八尾町の各河川の谷間、山田村、庄川峡、小矢部川の刀利  
ダムの下流域、上流の中河内付近に広く分布する。

しかし、この群落の生育地は湿性地で肥沃であるので、すでにスギの植林地になっている  
所が多く、また今後スギの植林地になる可能性がある。上平村庄川支流の桂のこの群落  
は、オニグルミの純林で、つる性植物が多く生育している。コマユミ、ケナシヤブデマリ、  
ニワトコ、ノイバラ、キイチゴの他、草本には高茎広葉草本が多い。

一般にこの群落は二次林になっており、ヤマハンノキ、ホオノキ、タニウツギ、アカソ、  
カラムシ、シシウドなどが生育している。

### 15. ブナーミズナラ群落

この群落のミズナラ群落は、標高 300～1100 mまでの稜線、頂上、中腹斜面に広く生育  
し、高海拔地ではブナと混生し、低海拔地ではコナラ又はアカマツと混生する。これらの  
群落は古くから人に利用された二次林か、放置された持続群落である。

近年この群落は、利賀村水無では約 1300 mあたりまで、その他の町村では約 900 mあ  
たりまでスギの植林地に変わってしまっているところが多い。

#### ○オオバクロモジミズナラ群集

この群集のミズナラ群落は、細入村の洞山、唐堀山など、八尾町の日尾御前、大長谷川  
の源流、白木峰など、山田村牛岳、利賀村、平村、福光町医王山などに広く分布している。  
日尾御前のこの群落は樹高約 25 mあるが、一般的には 20 m前後である。

植被率は 80～90 %で、植生は高木にミズナラ、ホオノキ、イタヤカエデ、ハリギリなど  
の他、シナノキ、アズキナシ、ヤマハンノキ、コシアブラナなど、低木にオオバクロモジ、  
ハイイヌガヤ、ヒメアオキ、ユキツバキ、エゾユズリハ、チャボガヤ、ハウチワカエデ、  
コハウチワカエデ、ヤマモミジ、リョウブ、ヤマウルシ、ナナカマドなど、草本にミヤマ  
カンスゲ、トリアシショウマ、シンガシラ、ショウジョウバカマその他多くの植物が生育  
する。

#### ○ホツツジミズナラ群落

ミズナラ群落の生育地で角岩、集塊岩などの急斜面の表土の浅い乾燥地にこの群落が生  
育する。この群落は県東部では峡谷に生育するが、県西部では少なく、平村庄川峡、八尾  
町夫婦山、祖父岳などに分布している。

夫婦山のこの群落は、ミズナラ、ホツツジ、サイゴクミツバツツジ、オオカメノキ、タムシバなどで種類も少ない。

#### ○ミズナラ風衝低木群落

この群落はミズナラ群落の山頂、稜線の風衝地に出現する。庄川町牛岳のこの群落は、樹高4m、植被率70~80%で、低木にはミズナラ、シナノキ、リュウブ、マルバマンサク、オオカメノキ、タムシバ、オオバクロモジ、ナナカマド、アズキナシ、ユキツバキなど、草本にはトクワカソウ、ミヤマカンスゲなどが生育している。分布は八尾町夫婦山、城端町袴腰山、福光町医王山などである。

#### ○マルバマンサク群落

ミズナラ風衝低木群落の生育地より、もっと強い風衝の山頂山稜にこの群落が生育する。夫婦山のこの群落は、樹高が1.5m、植被率は90~100%で、低木にマルバマンサク、ヤマボウシ、アカミノイヌツゲ、イヌツゲ、ヒメアオキ、ユキツバキ、ウスユキハナヒリノキ、リュウブ、タムシバ、アズキナシ、コマユミなど、草本にホソバカンスゲ、ツルアリドウシ、トクワカソウなどが生育している。このような群落は細入村洞山、袴腰山、医王山、人形山、利賀村高峰などにまれに分布している。

#### ○サラサドウダン群落

風衝低木群落のサラサドウダン群落が、平村人形山への稜線に生育している。樹高は1.5m、植被率は90~100%で、サラサドウダン、オオコメツツジ、アカミノイヌツゲ、イヌツゲなど乾燥地に生育する低木や、イワカガミ、ゴゼンタチバナ、コシジオウレンなどの草本が生育している。

#### ○オオコメツツジ群落

風衝低木群落のオオコメツツジ群落も人形山に生育している。樹高は1m、植被率は90~100%で、オオコメツツジ、アカミノイヌツゲ、マルバマンサク、リュウブ、ハナヒリノキ、オオバスノキなど、乾燥地に生育する低木や、イワカガミ、マイヅルソウ、ゴゼンタチバナ、アカモノ、ミツバオウレンなどの草本が生育している。この群落は強い風衝地でなくても、岩石乾燥地でも生育するし、金剛堂山、白木峰などの風衝湿性地上にも生育する。

#### ○オクノカンスゲーチシマザサ群落

ブナクラス域の稜線東側の、冬期季節風の風背になる緩い斜面に、吹き溜りの堆積雪地ができる。ここは融雪が遅いために高木が生育できず、チシマザサ群落が小面積で生育する。白木峰では樹高2m、植被率100%で、チシマザサの純群落である。その中にわずかのオオカメノキ、ナナカマドなどの低木、ホソバカンスゲ、マイヅルソウ、ミヤマカタバミなどの草本が生育する。この群落は他に、大獅子山、猿ヶ山、袴腰山、金剛堂山、戸田峰などに分布している。